

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

社員すべてが心と力を合わせ、企業の発展と成長を通じて、未来のより良い環境作りに貢献する

② 中長期の経営戦略

1. 発展・利益・還元サイクル強化

高付加価値化追求により、あらゆるステークホルダーへより多くの利益を還元。従業員が働きがいを実感できる環境整備に注力

2. 公共関連事業の安定成長

マイナンバー活用やDXなど国策に対応。住基カード時代から蓄積した公共システム開発の知見を次世代に継承し競争力維持向上

3. エンタープライズ事業の拡大

受注確度高い提案営業で新規一次請け案件増加。リーダー育成と重点提携先連携強化。基幹業務システムで確かなポジション構築

4. 広域ソリューション事業の発展

東名阪3拠点でローコード開発案件をきっかけに事業発展。トラブル予防強化と先端技術・PM人材育成に積極投資

③ 対処すべき課題

① IT人材確保と人件費対策

- ・IT人材獲得競争激化に伴う人件費・外注費・仕入原価上昇。高付加価値維持で個の力発揮できる職場改革が必須
- ・先進技術者やマネジメント人材確保育成で強靱な組織体制構築

② セグメント別事業リスク対応

- ・公共関連：IT予算縮減による業務量減少・人月単価低下リスク。景気後退・世界情勢変動への対応が課題
- ・エンタープライズ：失注案件・不採算案件増加リスク。マーケティング機能構築・営業力強化・マネジメント人材確保が…
- ・広域ソリューション：顧客経営環境悪化による案件縮小リスク。

③ 市場環境への適応

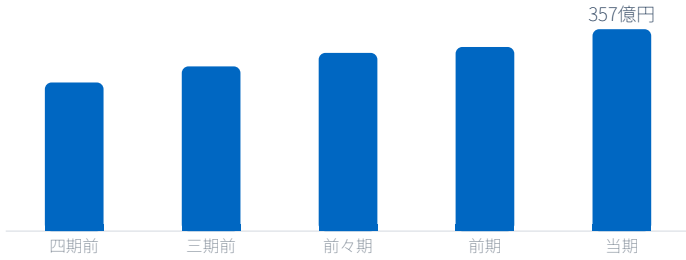
- ・IT利活用普及拡大により企業・生活者とITの関わり方が多様化。対応ニーズの正確把握と先端技術活用が必要
- ・マーケティング機能強化でトレンド・先端ニーズ捉え、ダイナミックなデジタル変革対応が課題

面接で使えるポイント

- ・住基カード時代からマイナンバー対応に携わり、国策DXに適応する公共システム開発の専門性と継続的な成長機会
- ・従業員をかけがえない経営資源として、個の力発揮できる職場改革と人的資本投資に注力する組織文化
- ・暗号・電子透かし・ビーコン等の自社製品開発と東名阪3拠点でのローコード開発案件による事業領域拡大への挑戦

証券コード 4662

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
72点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 48.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
627万円

情報・通信業内 354位/592社

平均年齢
36.39歳

情報・通信業内 387位/593社

平均勤続
10.75年

情報・通信業内 116位/593社

女性管理職
3.3%

情報・通信業内 356位/373社

男性育休
79.2%

情報・通信業内 169位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: (株)フォーカスシステムズ【4662】：決算情報

